

第1回久留米オープンデータ活用推進研究会 議事録

日時：平成27年5月29日（金）13：30～15：00

場所：久留米市庁舎3階 303会議室

出席者：（Code for Kurume）深川会員、山浦会員

（久留米ICT組合）中村副会長、外山会員、安河内会員、齋藤会員、稲益会員、
梯会員、時里会員

（高等教育機関）原田会長、山田会員、高橋会員、中嶋会員

（久留米市）星野会員、田中会員

事務局：市川、森田、池神、近藤、中村（貴）

議事次第

1. 会長あいさつ
2. オープンデータ活用推進研究会について
3. 会員団体からの報告
4. 久留米オープンデータ活用推進研究会の略称について
5. オープンデータ活用について
6. その他

議事要旨

1. 会長あいさつ

原田会長より研究会設立の挨拶

2. オープンデータ活用推進研究会について

事務局より研究会規約、オープンデータ活用推進ネットワーク、研究会活動イメージ、メディアの状況について説明

会長 新しくこの研究会に参加したいという方の取扱については、どのようにすればよいか。

事務局 登録されている団体から出席ということであれば、特に手続は必要ない。登録のない団体や個人の参加については、規約にある承認が必要となる。

3. 会員団体からの報告

久留米市からは、オープンデータのガイドラインの作成を行うこと、各部局の所有デ

ータ調査を実施し、公開データを拡充することを報告。

久留米 ICT 組合からは 2 回の会合を行い、組合への入会手順の検討や組合のホームページの作成について報告。

Code for Kurume からは、ミーティングの開催報告やホームページの作成、他の団体の取組状況について報告。

高等教育機関からは、コンテスト等への学生参加の促進や現在の久留米市が公開しているデータの内容等についての報告。

4 . 久留米オープンデータ活用推進研究会の略称について

原田会長より説明

会 長 次回の研究会で決定する方向で進めたい。

5 . オープンデータ活用について

会 員 アメリカで、オープンデータを活用することで、行政が行っていた業務を市民自らで行い、税金の歳出が抑えられたという事例があった。このように、これからは、オープンデータを利用することからオープンデータを作り出すという動きが出てくる。

市民が活動できる場所を、Code for Kurume で提供できればと考えている。

会 長 ある大学で観光学科を創設したいという話があった。その地域には、観光資源がない状況であった。観光資源がなければ観光資源を作ればいいということで、その観光資源をつくるための学科を立ち上げるという事例があった。ニーズを拾うだけではなく、ニーズを生み出すこともこの研究会の中でできればと考えている。

会 員 久留米市では、どのような課題があるか、明確にする必要がある。

また、各団体ごとにそれぞれのフォーマットで作成すると、まとめるときに苦労するので、データの作成基準等を検討する必要があるのではないか。

会 員 住民のニーズという観点からは市民意識調査を材料とした方がいい。

また、市側にデータを活用するという意識が低く、出すこと自体に重きが置かれているので、この研究会での意見を市にも反映していきたい。

フォーマットは全国的に統一する動きもあるので、そちらの動きにも注視していきたい。また、そのような情報を提供していきたい。

会 員 報告の中で学生の参加について話があったが、具体的にあれば教えて欲しい。

会 員 Code for Kurume でプログラムのコンテスト等を開催したい。

課題に、「久留米市に役立つもの」や「久留米市のオープンデータを活用して」等を決めて、学生に作成させるとおもしろいと思う。アイデアソンとハッカソンを融合させたようなイベントを企画する方法も検討していきたい。

会 員 シティプラザ開館にあわせて、プラザを中心とした観光等の情報を発信できるアプリの検討をお願いしたい。

会 員 アプリと観光データの公開をあわせて検討していく必要がある。

会 員 皆様の意見を踏まえ、今年度の開発として進めていきたい。

6 . その他

次回日程の調整の際に、大まかな1年間のスケジュールを提出していただいて、年間の研究会の日程を決めていきたい。

以上